

ブルーカーボン事業 藻場分布調査・藻場再生観察

令和3年度MaOI-FS事業

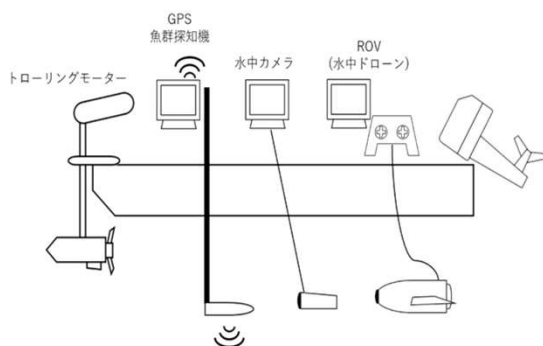
事業者：(株)未来創造部（熱海市）

- 事業概要：
- 熱海市沿岸で行っている藻場調査において、従来の潜水土に代わり魚群探知機とけん引式水中カメラを用いた方法を検討し技術確立する。
 - 藻場分布状況の画像認識によるAI開発フローを検討。確立した技術で、熱海周辺の藻場の状況を観察する。

- 成果：
- 潜水土に代わり、魚群探知機とけん引式水中カメラを用いて藻場観察を実施した。トローリングモーターにて航行制御した作業艇にてGPS魚探と水中カメラの撮影を実施した。入り組んだ磯場や浅瀬では（ROV）を用いた撮影も並行した。
 - AI開発に関しては、魚探のスキャン動画を画像データとして取りこむところまでにとどまった。
 - データ通信技術を用い陸上からリアルタイムで藻場調査の様子がモニタリングできた。
 - 熱海周辺の藻場観察に関しては、2018年の調査時に比較して藻場が減少しており、磯焼けの進行が認められた。

- 支援内容：事業実施中の伴走支援

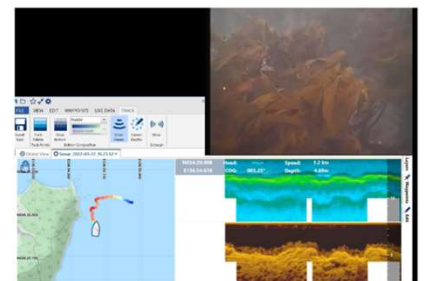
藻場調査船のイメージ図



調査中の様子



取得画像



- ここに注目：
- 魚探およびROVを活用して藻場調査をすることで、**効率化**・**省力化**が図れる。
 - 磯焼け問題がクローズアップされている現状、藻場の盛衰を船上からモニタリングできる技術は有用。